

## 「伝えよう～話す勇気・気づく力～」 ～熊本県人権子ども集会開催！～

10月11日（土）、パークドーム熊本において、熊本県人権子ども集会が県内の学校や地域から8,000人を超える参加のもと開催されました。

この集会は、部落差別をはじめあらゆる差別をなくし、一人一人の人権が尊重される社会の実現を目指して、毎年開催されており、今年で18回目となります。

8月と9月に4回の子ども実行委員会（中学生2人・高校生6人）を開き、人権子ども集会に対する思いや願い、集会テーマや全体活動、集会アピールについて意見や考えを出し合いながら内容の検討を重ねてきました。当日は、子ども実行委員会の運営により、多良木町立黒肥地小学校、熊本県立熊本聾学校中学部、熊本県立荒尾高等学校から体験・活動が報告され、集会参加者からも報告に対して感想が発表されました。

また、全体活動においては、集会のテーマである「伝えよう～話す勇気・気づく力～」のもとに、手話を交えて歌声を響かせました。手話は、コミュニケーションを図る一つの手段であり、体験することで、手話に対する関心を高めてもらおうと子ども実行委員会の意見により実施したものです。

最後に、集会アピールでは、子ども実行委員から、「勇気を持って自分の気持ちを伝えましょう。また、人の思いに気づけるようになりましょう。『話す勇気・気づく力』を周りに広げていきましょう。」「差別やいじめをなくす“本当のなかま”になり、みんなが楽しく笑顔で過ごせる未来をつくっていきましょう。」という提案がなされ、参加者全員の拍手によって採択されました。

このように、子どもたちの思いを直接聞くことのできる貴重な集会であり、児童生徒にとっては、「自他を大切に作る心の成長」を図る場、先生方にとっては「人権教育のすばらしさを体感」していただく場となっています。また、事前や事後の取組を行うことで、参加できなかった児童生徒や先生方にとってもそれらの効果が期待されます。今後とも、人権子ども集会への積極的な参加及び事前・事後の取組の充実をお願いします。



## 部落差別をはじめあらゆる差別をなくす 熊本県人権子ども集会アピール文

今のあなたの言葉は誰かを傷つけていませんか。

今のあなたの言葉は誤解などされずにちゃんと伝わっていますか。

メールや掲示板、無料通話アプリ等のSNS（コミュニティサイト）に書かれたメッセージや文字だけで大切なことは伝わっていますか。その文章に自分の気持ちはちゃんと込められていますか。

あなたの何気ない一言で傷つき、悩み、苦しんでいる人がいるかもしれません。

あなたは、もし自分の大切な人が傷ついていたらどうしますか。

自分自身が一緒に傷ついてでも、助けたいと思うのではないのでしょうか。

障がいがあるから、生まれた所が違うから、考え方が違うから・・・そのような理由をつけて差別やいじめをしてしまう人がいます。差別やいじめによって、自ら命を絶ってしまった人、今も苦しみ、助けを求めている人がいます。

どうしたら、差別やいじめはなくせるのでしょうか。

私たちは、個性という「自分らしさ」を持って生まれました。誰もが、誰かの大切な人であり、この世界でたった一人の自分自身なのです。まずは自分のことを認め、好きになることから始めてみましょう。そして、相手の相手らしさを認め、直接話す時間を作りましょう。

時には、意見や考え方の違いでケンカをしたりすることもあるかと思えます。それは、お互いにわかり合おうと正面から向き合うことで、「友達」からお互いに高めあうことのできる「なかま」になろうとしている途中かもしれません。その時は、二人の間で何がいけなかったのか、これからどうしていけばいいのか、相手と考えてみてください。

自分のことを認め、好きになることで、自分以外の誰かのことを認め、好きになることができます。お互いの違いを理解し、お互いに認め合うことができますはずです。

小さなことでも我慢せず、思っていることを誰かに伝えれば、必ず何か返ってきます。

誰かに気づいてもらえるように勇気をもって自分の気持ちを伝えましょう。また、人の思いに気づけるようになりましょう。「話す勇気・気づく力」を周りに広げていきましょう。

一人ひとりが、自分のために、誰かのために、差別やいじめをなくすために。

ここにいる私たちが、お互いにおかしいことをおかしいとはっきり言い合いながら共に成長し、差別やいじめをなくす“本当のなかま”になり、みんなが楽しく笑顔で過ごせる未来をつくっていきましょう。

2014年10月11日

部落差別をはじめあらゆる差別をなくす熊本県人権子ども集会参加者一同